

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立男女共同参画センター西部館及び大阪市立こども文化センター
施設所管課・担当	市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課（電話: 06－6208－9156） こども青少年局企画部青少年課（電話：06－6684－9441）
条例上の設置目的	（男女共同参画センター西部館） 男女共同参画社会の実現をめざす活動の拠点として、男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野における活動に参画し、個人として能力が発揮できるよう多面的な支援を行うことにより、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。 （こども文化センター） 優れた演劇、音楽、映画等の鑑賞及び絵画、工作等の創作その他の文化活動を通じ、健全な本市児童の育成を図ることを目的とする。
業務の概要	異なる設置目的を持つ複合施設として「施設の管理・運営」を、男女共同参画社会の形成の寄与に関する業務として「情報の収集及び提供」「講演会・講習会・研修会等の開催」「相談事業」「啓発」を、こどもの文化の形成の寄与に関する業務として「舞台芸術事業の提供」「情報収集・提供と相談事業」「人材養成・交流・協働事業」を、また「その他市長が必要と認める事業に関する業務」を実施。
成果指標	（男女共同参画センター西部館） 貸室等利用率／貸室等利用者満足度／情報・図書コーナー利用者数／講座受講者数／講座受講者満足度 （こども文化センター） ホール稼働率／事業参加者数／事業満足度
数値目標	（男女共同参画センター西部館） 72.2％以上／80％以上／1,900人以上／800人以上／80％以上 （こども文化センター） 59.0％以上／17,900人以上／80％以上
指定管理者名	クレオ大阪西・こども文化センター共同事業体 （代表者）一般財団法人大阪男女いきいき財団 （構成員）一般財団法人大阪教育文化振興財団 （構成員）サントリーパブリシティサービス株式会社 （構成員）グローブシップ株式会社
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

（男女共同参画センター西部館）

成果指標	貸室等利用率	貸室等利用者満足度	情報・図書コーナー利用者数	講座受講者数
数値目標	72.2％以上	80.0％以上	1,900人以上	800人以上
年度実績	56.5%	99.6%	2,082人	1,667人
達成率	78.3%	124.5%	109.6%	208.4%

成果指標	講座受講者満足度
数値目標	80.0％以上
年度実績	98.6%
達成率	123.3%

（こども文化センター）

成果指標	ホール稼働率	事業参加者数	事業満足度
数値目標	59.0％以上	17,900人以上	80.0％以上
年度実績	52.7%	15,352人	88.2%
達成率	89.3%	85.8%	110.3%

令和5年度 指定管理者年度評価シート

利用状況

(男女共同参画センター西部館)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	60,743	48,369	12,374
稼働率	56.5%	53.4%	3.1%

(こども文化センター)

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	15,352	12,332	3,020
ホール稼働率	52.7%	59.4%	△6.7%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	108,188,591	113,403,056	△ 65,409	施設整備費(修繕費等)余剰による減のため
	計画	108,254,000	108,481,000		
利用料金収入	実績	4,090,100	4,099,740	△ 2,993,900	貸室等利用率言減のため
	計画	7,084,000	6,918,000		
その他収入 (自主事業収入等)	実績	7,749,152	7,567,820	△ 3,584,848	
	計画	11,334,000	11,291,000		
合計	実績	120,027,843	125,070,616	△ 6,644,157	
	計画	126,672,000	126,690,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	81,280,207	82,200,409	12,120,207	一部の項目において人員増のため
	計画	69,160,000	69,160,000		
物件費	実績	52,775,167	55,140,337	△ 131,833	
	計画	52,907,000	52,907,000		
その他事業費 (自主事業支出等)	実績	2,849,180	2,671,250	△ 1,755,820	
	計画	4,605,000	4,566,000		
合計	実績	136,904,554	140,011,996	10,232,554	
	計画	126,672,000	126,633,000		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

(男女共同参画センター西部館)

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室等利用率	78.3%	C	
貸室等利用者満足度	124.5%	S	
情報・図書コーナー利用者数	109.6%	B	
講座受講者数	208.4%	S	
講座受講者満足度	123.3%	S	

(こども文化センター)

評価項目	達成率	評価	特記事項
ホール稼働率	89.3%	C	
事業参加者数	85.8%	C	
事業満足度	110.3%	A	

令和5年度 指定管理者年度評価シート

(2) 管理運営の履行状況

評価項目		評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営	施設の管理運営	男女共同参画センター：S こども文化センター：B	・4月、5月ともに利用率が44%台と底を打ったが、11月に66.7%、2月65.9%と大きく上昇し、新規利用者も増えつつある。 ・研修室について、床タイルカーペット、テーブルの全更新、レイアウトを変更し、使い勝手の更なる向上に努めた。
	事業計画の実施状況	男女共同参画センター：B こども文化センター：B	・「おやこ防災フェスタ～避難訓練コンサート」を実施し、消防訓練や起震車体験など、様々なプログラムを楽しみながら、防災や命を守るスキルについて親子で楽しく学ぶ機会を提供した。 ・プラスバンドやミュージカル、アカペラやボイスとレーニング等のこども文化センター事業及びクレオ大阪西講座受講生による成果発表会を合同開催した。 ・認知症や個別避難計画の勉強会を、地域団体の協力のもと、参加者の発案や質問を採用するなどしてテーマを適宜変えて実施した。 ・人形劇や腹話術・紙芝居等アマチュアグループによるイベントや「ジェンダー平等」の課題解決につながるアイデアコンテスト等、事業規模にあわせてこども文化センター（ホール）、クレオ大阪西（諸室）を相互に利用したり、運営や広報について協力して開催した。
	施設の有効利用	男女共同参画センター：B こども文化センター：A	・空き室を有効活用して、地元の小学校～高校生を対象に学びのスペースを提供した。 ・手作りパン実習を通じて参加者同士の交流を図ったり、小学生を対象にこどもでも簡単にできるワンプレーとメニューの料理教室を放課後時間に実施し、若年層からの家事への関心・参画を促進するなど、施設を利用した地域との連携を図った。 ・日頃舞台芸術活動に励んでいる子どもたちに本格的な舞台で発表する機会を提供した。 ・こども文化センターでは、学校や地域における文化活動との協働として中学校などと連携し、ダンス、演劇、吹奏楽などの各種事業を実施した。
社会的責任・市の施策との整合性		男女共同参画センター：A こども文化センター：B	・スタッフボランティアの育成のため、「こども劇場」をはじめとするホール事業の運営サポートと事業運営状況、参加者対応等について意見交換を行った。 ・ボランティアグループに日常の練習場所を提供するとともに、レベルアップ講習を行った。また、ボランティアグループとの共同で親子で楽しめる人形劇などの鑑賞機会を提供した。 ・「クレオ大阪西とこども文化センター相互の連携による積極的な取組や事業展開」について、臨時開館の合同開催、こども文化センター事業における男女共同参画施策の内容を採用するといった事業展開を行うことで、積極的に施策の連携に取り組んだ。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

(3) 市費の縮減(節減努力・収支改善に向けた取組)

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・電力およびガスの需給契約について、競争的手法による事業者選定を実施した。また、電力需給契約に省エネ実践サービスを付加させた。 ・玄関プラネットや保育室、音響照明操作室、事務室内休憩室、非常階段の一部照明をLED照明設備に更新し、継続的な管理経費の削減に努めた。 ・省エネルギーを推進し光熱水費の縮減を図るため、電気室設置のデマンドコントローラーを活用し基本電力使用量の抑制管理を行った。 ・保育室の窓ガラスに遮光・遮熱タイプのフィルムを前面貼付し、乳幼児を預かる部屋としての温度上昇を抑制した。	B	・施設運営と保守業務の専門性をもつ事業体構成員の強みを活かして、緊急度・重要度の高い維持補修を効果的・効率的に実施した。

5 利用者ニーズ・満足度等

【令和5年度実績】

〈男女共同参加センター〉スタッフ対応満足度：99.6%、受講者満足度：98.6%（※男女共同参画セミナー）

〈こども文化センター〉施設利用満足度：94.4%

【参考：令和4年度実績】

〈男女共同参加センター〉スタッフ対応の満足度：99.75%、受講者満足度：95.5%（※男女共同参画セミナー）

〈こども文化センター〉施設利用満足度：95.9%

6 外部専門家意見

・ホール及び諸室の利用率が、コロナ禍以前の水準まで回復しない要因について、きちんと分析を行っていただきたい。その分析結果を踏まえ、どのような活用や広報が効果的であることをしっかり検証したうえで対応されたい。

・地域における居場所づくりの拠点として、地域住民や団体等との連携が大事である。こどもや親子対象の取組に偏りがちであるが、中学生・高校生を対象とした取組などを増やすことも検討していただきたい。また、外国人も増えてきているので多様性を意識した取組も展開していただきたい。

・複合施設ならではの特性が活かしきれていないように見受けられる。こどもから中・高校生、そして大人に至るまで、男女共同参画の理念を活かした取組を西部館とこども文化センターで連携して行うなど、広い観点での企画を期待する。集客数も大事だが、これからの生き方、これからの社会について、若年層から考えるきっかけをいかに与えていくかということも今後検討いただきたい。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	・西部館では、貸室利用率以外は目標値を達成した。 ・こども文化センターでは、ホール利用率、事業参加率が目標値に届かなかったが、事業満足度は高かった。
管理運営の履行状況	B	・利用者や受講者の要望を把握し、目標達成に向けて課題分析し、利用促進に努めてもらいたい。 ・複合施設の特性を活かした企画立案を行うなど、互いにより一層の連携をとった取組を展開していただきたい。 ・地域の特性や特色等を把握し、ニーズに合わせた事業を実施していただきたい。 ・引き続き、他のクレオ大阪各館と連携し、幅広い分野をカバーして男女共同参画施策を展開していただきたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性	B	・物価高騰が続いているものの、今後も経費削減に努めていただくとともに、利用料金を中心とした収入の確保に努めていただきたい。
市費の縮減（節減努力・収支改善に向けた取組）		
総合評価	B	・令和3年3月に策定した「大阪市男女きらめき計画」の趣旨・目的を踏まえた適切な管理を行っていると評価できる。 ・引き続き、男女共同参画、こどもの健全育成の推進拠点としての役割を果たすとともに、複合施設としての機能をより一層活かした事業展開に期待する。